

## 滋賀県立高等専門学校の設置準備状況について

### I 学校概要（令和8年5月末時点）

- 1 設置・運営主体  
公立大学法人滋賀県立大学
- 2 設置・開校時期（予定）  
令和10年（2028年）4月
- 3 名称  
滋賀県立高等専門学校（Shiga College of Technology）
- 4 位置  
滋賀県野洲市市三宅地先
- 5 入学定員  
120人（5学年 計600人）
- 6 設置目的および基本理念



#### (1) 設置目的

- ・ 滋賀発で次代の社会を支える高度専門人材の育成
- ・ 技術者育成・交流のためのハブとして地域産業・社会への貢献

#### (2) 基本理念

「科学技術に関する専門知識」と「合理的な行動力」の融合により、次代の社会を技術で支える実践力と豊かで幸福なエンジニア人生の基礎を築き、新たな社会課題にも自信を持って立ち向かえる『しなやかでたくましい人材』を育成

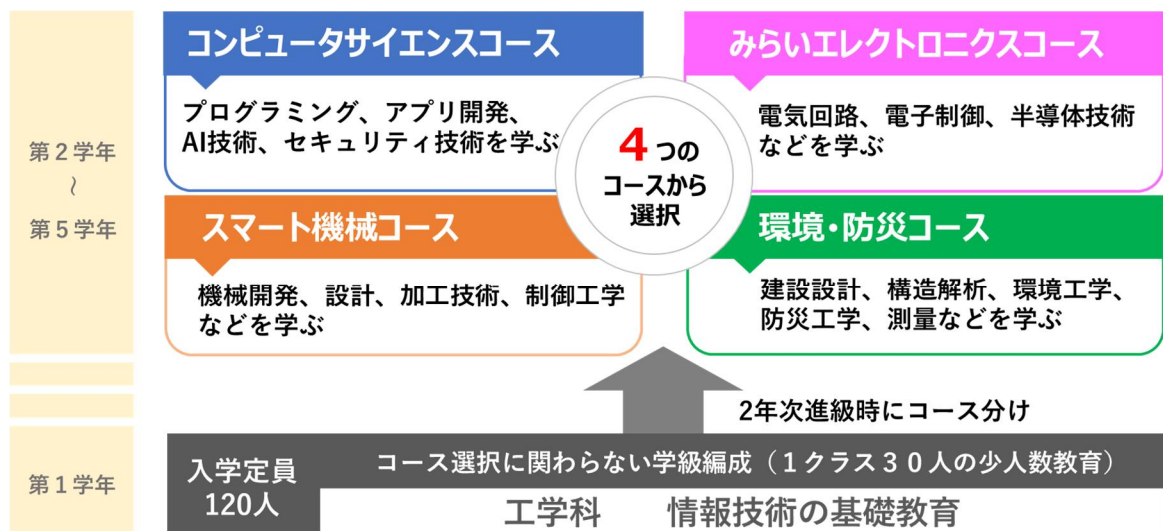
### 7 学科およびコース

#### (1) 学 科

工学科

#### (2) コース

1年次に、全ての学生が情報技術および工学全体の基礎を学んだ上で、2年次から、異なる専門分野からなる4つの専門コースに分かれ、専門知識・技術を深める。



## 8 教育の特色（養成する人材像、3ポリシーおよびカリキュラムの概要は、別添参照）

### (1) 専門の枠を越えた工学分野の幅広い基礎知識の修得

- 5年間を通して、専門分野にとどまらない幅広い学びを専門共通科目として設定  
《科目例》工学概論、情報処理基礎、電気基礎、機械基礎 など

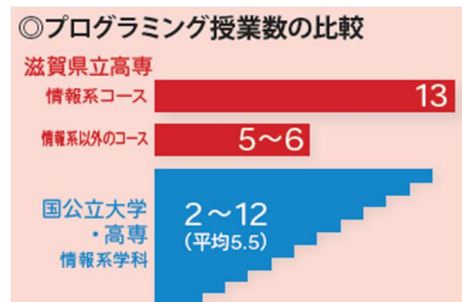
### (2) 情報技術の活用力と、滋賀ならではの環境配慮の視点の修得

- 全ての学生が、近畿の主要な国公立大学や全ての国公立高専の情報系学科と同等以上のプログラミングスキルを修得できるカリキュラムを構成

《科目例》情報リテラシー、プログラミング入門、AI プログラミング など

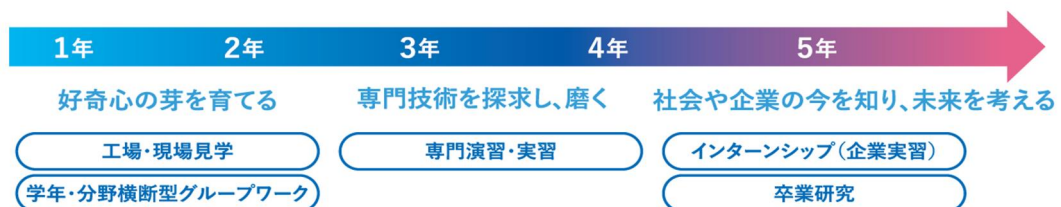
- 滋賀県でこれまで取り組まれてきた琵琶湖の環境保全やその歴史を踏まえ、全ての学生が環境問題の現状と課題を理解し、自然環境との調和や持続可能な産業のあり方を学ぶ。

《科目例》環境基礎、環境生物、サステナブル工学 など



### (3) 学生の成長に応じた段階的な課題解決力の養成

- 1年生から実践的な学びを通して、段階的に主体性や協調性、論理的思考力を養成



### (4) 1クラス30人の少人数教育

- 1クラス30人の少人数教育により、教員が学生一人ひとりを丁寧にサポート

## 9 取得称号

準学士（工学）

## 10 入試制度

### (1) 選抜方法（入学者に占める女子学生の割合が概ね20~30%となるよう、推薦選抜において「女子枠」を設定）

特徴	A 推薦選抜		B 一般選抜	
	面接試験等により総合的に評価する選抜方法			
類型	コース選択型推薦選抜	地域限定推薦選抜	-	
募集枠	コース選択型推薦枠	コース選択型女性エンジニア養成枠	地域限定推薦枠	地域限定女性エンジニア養成枠
募集人数	合計24名程度		合計36名程度	
備考	将来像が明確で、コース選択の意思が固い学生確保を目的とし、合格者は二次以降のコース配属が決定する。		県内のみ受験可能	
			「一般選抜」は「推薦選抜」との併願が可能。	

### (2) 入試スケジュール

項目	令和9年 9月~11月	令和9年 12月	令和10年 1月	令和10年 2月	令和10年 3月	令和10年 4月
設置認可	■					
入試説明会	■					
推薦入試			■			
合格発表（推薦）			■			
一般入試				■		
合格発表（一般）				■		
開校（入学）						■

## 11 校舎等施設

「地域に溶け込み、地域から誇りと愛着を持たれるキャンパス」「現代的・実質的・コンパクト」をコンセプトに、以下のような特長を有する新キャンパスを整備

### (1) 校舎棟（鉄骨造・3階・約10,900㎡）

- ・ 学生や教員が集い、語らい、共創を育む場として、吹き抜けの「交流スペース」を設置
- ・ 4つの専門コースそれぞれにグループワークが可能な「コモンスペース」を配置するほか、少人数教育や課外活動なども可能な「多目的室」を複数設置

### (2) 実習工場・実験室棟（鉄骨造・1階（一部2階）・約2,200㎡）

- ・ 多目的な創作活動が可能な「創作工場」、ゼミ活動や研究活動を行う「多目的ラボ」を設置

### (3) 図書交流・食堂売店棟（鉄骨造・2階・約2,400㎡）

- ・ 1階を「交流エリア」とし、企業や地域との交流や協働活動ができる「グループワークルーム」、「多目的室」や「共同研究室」を設置

### (4) 学生寮（鉄筋コンクリート造・2階・約1,400㎡）

- ・ 通学が困難な学生や留学生の入居を想定し、公立高専初の学生寮（個室 計50室）を整備

### (5) 体育館（鉄骨造・1階・約1,600㎡）

- ・ 災害発生時の避難難所利用も想定し、電源自立型 GHP 空調を設置

### (6) その他全体

- ・ 各施設を「キャンパスモール」（屋根付き通路）で繋ぎ、雨天時に雨具なしで移動が可能
- ・ 校舎棟「交流スペース」、図書交流・食堂売店棟の「ラーニングコモンスズ」「図書館」に県産木材等を使用し、温もりのある空間を演出
- ・ 校舎棟、図書交流・食堂売店棟、体育館は ZEB Ready を、学生寮は ZEH-M Oriented を達成済



## Ⅱ 令和8年5月末時点の進捗状況および令和8年度の主な予定

### 1 ソフト関係

#### (1) 学校運営体制構築

##### ア 令和8年5月末時点の進捗状況

##### (ア) 教員の確保

- ・ 初代校長予定者を内定（北村隆行氏（元京都大学理事・副学長））
- ・ 基幹教員（専門科目・一般科目計55人）の9割超を内定

##### (イ) 教育課程等の構築

- ・ 北村校長予定者および開校準備教員を中心に、教育課程等の概要を構築

##### (ウ) 学校運営に係る各種ルール等の整備

- ・ 学則、学内委員会、学生支援体制、課外活動、学生寮、食堂運営方法、入試制度等を検討

##### イ 令和8年度の主な予定

- ・ 基幹教員の募集・選考を継続
- ・ 教育課程等の詳細を検討
- ・ 学校運営に係る各種ルール等の詳細を検討

#### (2) 企業との連携・共創

##### ア 令和8年5月末時点の進捗状況

- ・ 「県立高専共創フォーラム」への参画企業等が441者まで拡大

企業	団体	高専	大学	行政	個人	計
292	21	2	4	3	119	441

- ・ 情報共有・機運醸成のための企業関係者向けイベントを4回実施

第1回：令和6年2月8日（参加者数：約250人（来場+オンライン））

第2回：令和6年9月11日（参加者数：約180人（来場+オンライン））

第3回：令和7年2月13日（参加者数：約200人（来場のみ））

第4回：令和8年5月28日（参加者数：約130人（来場のみ））

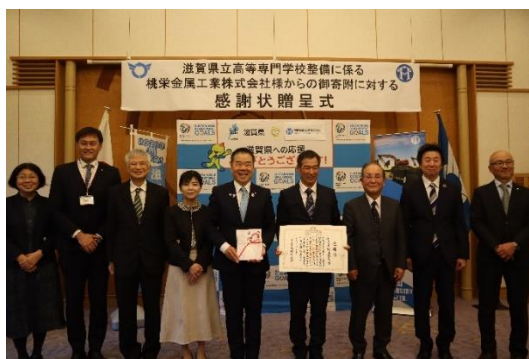
- ・ 企業関係者への準備状況等の情報共有のためのメールマガジンを19回発行

- ・ 企業との連携・共創メニューの具体化に係る以下の取組を実施

「県立高専共創フォーラム」参画企業への個別訪問・意見交換（計100社）

「共創インターンシップ」説明会の開催（122社が参加、101社が受入れ意向）

- ※ この間、桃栄金属工業株式会社から、県立高専への大型寄附第1号となる教育備品（CNC旋盤）の寄附申出をいただき、令和8年4月15日に感謝状を贈呈



桃栄金属工業株式会社  
TOEI METAL INDUSTRY CO.,LTD.

##### イ 令和8年度の主な予定

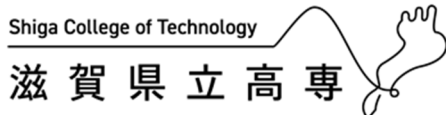
- ・ 企業との意見交換を通じ、連携・共創メニューのアイデア出しとその実現可能性を検討

### (3) 広報・周知活動

#### ア 令和8年5月末時点の進捗状況

(ア) 専用ホームページ、Instagram、Facebook 等によりイベント開催や開校準備に係る情報を随時発信

(イ) ロゴマーク、キャッチコピーを作成



## スキそとがれ！シガ高専！

～知識と技術を研ぐキミの5年間～

(ウ) 広報資材（リーフレット、ポスター、ペン立てキット、ミニのぼり、ボールペン）を作成・配布

(エ) 主催イベント、出前授業、地域での体験講座を実施、各種イベントブース出展



(オ) 各メディアによる取材に対応・記事掲載

- ・ 令和6年1月～令和7年3月 月刊高専 (WEB記事・計6回)
- ・ 令和7年10月 日刊工業新聞記事掲載
- ・ 令和7年11月 日本経済新聞記事掲載
- ・ 令和7年12月 日刊建設工業新聞記事掲載
- ・ 令和8年5月 読売新聞 (教育ルネサンス) 記事掲載

(カ) 「教育しが」(県教育委員会発行) 連載記事掲載 (令和7年10月:ハード面、令和8年1月:ソフト面)

(キ) 県内市町教育委員会へ訪問・説明、中学校校長会にて説明

上記(ア)～(キ)の取組により県立高専設置の認知度が上昇 (県内認知度 (LINE アンケート結果))

令和5年度 57.3% → 令和6年度 64.2% → 令和7年度 68.5%

+6.9%

+4.3%

## イ 令和8年度の主な予定

県立高専への入学第1期生が中学2年生になったことを踏まえ、これまでの一般広報活動に加え、以下による入試広報活動（志願者獲得に向けた広報活動）を展開（中学生とその保護者、中学校教員へのアプローチを強化）

- ・ 県内中学校へ訪問・説明
- ・ プレオープンキャンパス（学校説明会）を開催
- ・ 県内各地にて地域開催型出前授業を実施
- ・ 国公立高専合同説明会（KOSEN FES）in 大阪へブース出展
- ・ 県外にてPRイベントを実施
- ・ 商業施設での個別相談会を開催

## 2 ハード関係

### (1) 用地、周辺インフラ整備

#### ア 令和8年5月末時点の進捗状況

- ・ 用地整備（樹木伐採・伐根、盛土造成、雨水排水設備整備、歩道整備、防犯灯設置）を完了
- ・ 上下水道管（野洲市施工）、電線（関西電力送配電株施工）の各敷設を完了
- ・ ガス管（大阪ガスネットワーク株施工）のうち用地への引込管の敷設を完了

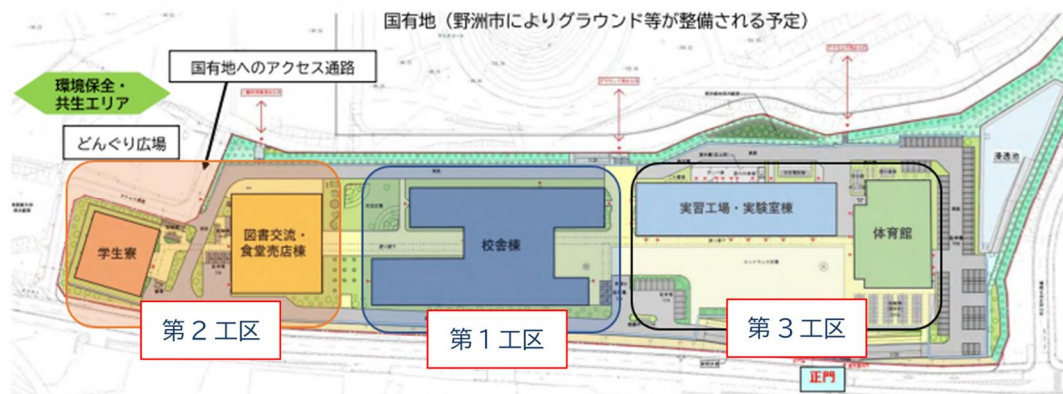


## イ 令和8年度の主な予定

- ・ 6月～7月 ガス管本管の延伸工事を施工
- ・ 令和8年度中 通信回線整備に係る調整

### (2) 校舎等施設整備

#### ア 令和8年5月末時点の進捗状況



※ 県内事業者の入札参加可能性の拡大、入札における競争性の向上の観点から、9区分（3工区×3工種（建築、電気、機械））による分割発注を実施

- ・ 第1工区（校舎棟）に係る入札を実施（建築のみWTO案件）
  - 建築：令和8年2月 2日 公告
  - 4月22日 不落 [3者入札]
  - 令和8年4月27日 再公告
  - 6月11日 落札決定 [2者入札]
    - 落札者：戸田・奥田特定建設工事共同企業体
    - 構成員：戸田建設株式会社大阪支店（大阪市北区）
    - 株式会社奥田工務店（日野町松尾五丁目）
  - 電気：令和8年3月18日 公告
  - 5月 8日 不調 [4者入札、低入札価格調査基準価格未満で全者失格]
  - 令和8年5月19日 再公告
  - （6月19日 落札決定予定日）
  - 機械：令和8年3月18日 公告
  - 5月14日 落札決定 [4者入札]
    - 落札者：大崎・北中建設工事共同企業体
    - 構成員：大崎設備工業株式会社（守山市下之郷二丁目）
    - 株式会社北中工業（野洲市小篠原）

#### イ 令和8年度の主な予定

- ・ 6月～ 第1工区（校舎棟）に係る契約手続
- 第2工区（図書交流・食堂売店棟、学生寮）、第3工区（実習工場・実験室棟、体育館）に係る入札・契約手続を順次実施
- ・ 7月～ 第1工区（校舎棟）から建設工事を順次開始（令和9年12月頃完了予定）

### 3 設置認可申請関係

#### (1) 令和8年5月末時点の進捗状況

- ・ 学生確保の見通し調査等（中学生・企業向けアンケート）を実施
- ※ 設置認可申請に必要な手続の一つとして、県立高専への中学生の入学意向および企業への人材需要を調査し、実数で入学定員（120人）を超えるニーズがあることを確認

#### (2) 令和8年度の主な予定

- ・ ～7月 設置認可申請書類（案）を調製
- ・ 8月5日 県議会総務・企画・公室常任委員会にて設置認可申請内容を報告
- ・ 9月 設置認可申請書類を最終調製の上、文部科学省へ提出
- ・ 10月～ 審査意見への対応

（以上）

(別添) 養成する人材像、3ポリシーおよびカリキュラムの概要

